



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社要興業 上場取引所 東  
 コード番号 6566 URL https://www.kaname-k.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)木納 孝  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)村木 宣彦 (TEL) 03(3986)5352  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,418	9.2	878	37.0	902	38.9	607	38.8
2022年3月期第2四半期	5,875	10.4	641	104.0	650	88.6	437	118.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 604百万円(31.7%) 2022年3月期第2四半期 458百万円(91.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	38.30	—
2022年3月期第2四半期	27.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,801	16,775	76.9
2022年3月期	21,452	16,441	76.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 16,775百万円 2022年3月期 16,441百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 2022年3月期期末配当金の内訳

普通配当 15円00銭 記念配当 2円00銭(50周年記念配当)

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,678	6.2	1,526	18.5	1,571	20.3	1,061	21.6	66.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間の期首より「時価の算定に関する会計基準の適用指針」を適用しており、「会計基準等の改正に伴う会計方針の変更」に該当しております。詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	15,871,400株	2022年3月期	15,871,400株
2023年3月期2Q	42株	2022年3月期	42株
2023年3月期2Q	15,871,358株	2022年3月期2Q	15,871,358株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は2022年11月30日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①2023年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、新型コロナウイルスの感染状況による振れを伴いつつも、水際対策や行動制限が緩和されたことで国内需要に回復の兆しが見られました。一方、世界経済において、ウクライナ紛争や中国のゼロコロナ対策等が世界の経済成長を押し下げ、資源価格高騰等の物価上昇圧力による影響や、米国の金融政策等によりさらなる円安が進むことも予想され、様々な景気下振れリスクにも直面しており、予断を許さない状態が続いております。

当社グループの主要業務である廃棄物処理業につきましては、循環型社会形成の推進及び資源の有効利用促進といった、環境保全や法令遵守において当業界に対する社会的要求の高まりに応える努力と変革が求められており、また、コロナ禍において政府が定めた「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」により、緊急事態宣言時においても国民の安定的な生活の確保や社会の安定の維持のため、十分な感染防止策を講じつつ、事業を継続することが求められております。

このような経営環境の下、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬処分業務を主業とし、より厳格なコンプライアンスや適正処理の推進、顧客ニーズに合致する営業活動と業容の拡大に取り組んでまいりました。また、前年同期に比べ資源価格が上昇したこと及びコロナ禍からの需要が徐々に回復したこと等により、前年同期に比べ増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は6,418,398千円（前年同期比9.2%増）、営業利益は878,367千円（前年同期比37.0%増）、経常利益は902,825千円（前年同期比38.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は607,900千円（前年同期比38.8%増）となりました。

#### ②セグメント別の概況

当社グループは単一セグメントではありますが、事業区分別の売上高では、収集運搬・処分事業4,220,935千円（前年同期比5.9%増）、リサイクル事業792,437千円（前年同期比38.7%増）、行政受託事業1,405,024千円（前年同期比6.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,489,516千円となり、前連結会計年度末に比べ232,954千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が157,199千円、固定資産税支払い等により前払費用が35,524千円増加したこと等です。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は15,312,462千円となり、前連結会計年度末に比べ116,072千円増加いたしました。主な要因は、鹿浜隣地駐車場土地取得等により土地が160,940千円増加し、減価償却等により建物及び構築物が62,963千円減少したこと等です。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,169,496千円となり、前連結会計年度末に比べ113,730千円増加いたしました。主な要因は、短期借入金36,474千円、未払消費税65,435千円増加したこと等により流動負債その他が59,835千円増加したこと等です。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,857,173千円となり、前連結会計年度末に比べ98,894千円減少いたしました。主な要因は、約定返済により長期借入金146,114千円減少し、退職給付に係る負債が39,613千円増加したこと等です。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は16,775,308千円となり、前連結会計年度末に比べ334,190千円増加いたしました。主な要因は、配当金の支払による269,813千円の減少と親会社株主に帰属する四半期純利益による607,900千円の増加により利益剰余金が338,087千円増加したこと等です。

② キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、157,199千円増加し、3,916,538千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が903,903千円となったこと及び減価償却費257,201千円と、法人税等の支払額286,594千円があったこと等により、897,802千円の収入となりました（前年同期は532,998千円の収入）。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、鹿浜隣地駐車場土地取得等の有形固定資産の取得による支出214,697千円等により、232,143千円の支出となりました（前年同期は364,619千円の支出）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出167,124千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出108,532千円、配当金の支払による支出269,277千円等により、508,460千円の支出となりました（前年同期は197,169千円の支出）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年11月14日）別途開示しております「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,721,553	4,878,753
売掛金	1,382,703	1,400,096
有価証券	80,918	80,301
商品	5,014	7,745
貯蔵品	16,116	25,840
前払費用	44,341	79,865
その他	6,183	17,193
貸倒引当金	△270	△280
流動資産合計	6,256,562	6,489,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,341,444	2,278,481
土地	8,905,681	9,066,622
リース資産（純額）	462,618	481,578
その他（純額）	345,756	321,668
有形固定資産合計	12,055,501	12,148,350
無形固定資産		
その他	48,519	38,292
無形固定資産合計	48,519	38,292
投資その他の資産		
投資有価証券	758,336	757,886
繰延税金資産	356,326	358,046
保険積立金	1,788,932	1,824,394
その他	189,963	186,670
貸倒引当金	△1,191	△1,179
投資その他の資産合計	3,092,368	3,125,819
固定資産合計	15,196,389	15,312,462
資産合計	21,452,951	21,801,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	318,201	315,626
短期借入金	165,992	202,466
1年内返済予定の長期借入金	316,768	295,758
リース債務	233,061	245,058
未払法人税等	317,035	324,207
賞与引当金	204,315	226,153
その他	500,391	560,227
流動負債合計	2,055,765	2,169,496
固定負債		
長期借入金	858,151	712,037
リース債務	269,883	278,617
繰延税金負債	679,694	681,752
退職給付に係る負債	645,833	685,447
役員退職慰労引当金	451,233	447,825
その他	51,270	51,492
固定負債合計	2,956,067	2,857,173
負債合計	5,011,833	5,026,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,736	827,736
資本剰余金	1,400,341	1,400,341
利益剰余金	14,027,309	14,365,397
自己株式	△40	△40
株主資本合計	16,255,347	16,593,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,770	181,873
その他の包括利益累計額合計	185,770	181,873
純資産合計	16,441,117	16,775,308
負債純資産合計	21,452,951	21,801,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,875,270	6,418,398
売上原価	4,693,746	4,974,526
売上総利益	1,181,524	1,443,871
販売費及び一般管理費	540,188	565,503
営業利益	641,335	878,367
営業外収益		
受取利息	272	386
受取配当金	6,017	6,610
保険解約返戻金	4,698	18,759
その他	6,974	6,403
営業外収益合計	17,963	32,159
営業外費用		
支払利息	9,223	7,702
営業外費用合計	9,223	7,702
経常利益	650,074	902,825
特別利益		
固定資産売却益	1,287	1,244
特別利益合計	1,287	1,244
特別損失		
固定資産除却損	0	166
特別損失合計	0	166
税金等調整前四半期純利益	651,362	903,903
法人税等	213,416	296,002
四半期純利益	437,945	607,900
親会社株主に帰属する四半期純利益	437,945	607,900

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	437,945	607,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,697	△3,896
その他の包括利益合計	20,697	△3,896
四半期包括利益	458,643	604,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458,643	604,003

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	651,362	903,903
減価償却費	259,934	257,201
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,948	△3,408
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,023	21,837
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22,195	39,613
受取利息及び受取配当金	△6,290	△6,996
支払利息	9,223	7,702
保険解約返戻金	△4,698	△18,759
固定資産売却損益(△は益)	△1,287	△1,244
固定資産除却損	0	166
売上債権の増減額(△は増加)	△33,339	△17,381
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,978	△12,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,279	△2,575
未払消費税等の増減額(△は減少)	△167,040	76,062
預り金の増減額(△は減少)	3,946	9,890
その他	△22,219	△68,241
小計	739,467	1,185,314
利息及び配当金の受取額	6,118	6,785
利息の支払額	△9,223	△7,702
法人税等の支払額	△203,363	△286,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	532,998	897,802
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△314,336	△214,697
有形固定資産の売却による収入	3,594	2,564
無形固定資産の取得による支出	△4,927	—
投資有価証券の取得による支出	△4,473	△4,341
保険積立金の積立による支出	△64,439	△63,497
保険積立金の払戻による収入	20,070	47,187
その他	△108	641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364,619	△232,143

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,732	36,474
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△175,965	△167,124
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△110,178	△108,532
配当金の支払額	△174,757	△269,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,169	△508,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,790	157,199
現金及び現金同等物の期首残高	3,521,928	3,759,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,493,138	3,916,538

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第2四半期会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる当第2四半期連結財務諸表に与える影響はございません。